

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成25年8月12日

**【四半期会計期間】** 第29期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** WDBホールディングス株式会社

**【英訳名】** WDB HOLDINGS CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 中野敏光

**【本店の所在の場所】** 兵庫県姫路市豊沢町79番地

**【電話番号】** 079-287-0111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 専務取締役 大塚美樹

**【最寄りの連絡場所】** 兵庫県姫路市豊沢町79番地

**【電話番号】** 079-287-0111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 専務取締役 大塚美樹

**【縦覧に供する場所】** WDBホールディングス株式会社 東京本社  
(東京都千代田区丸の内2丁目3番2号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第28期 第1四半期 連結累計期間		第29期 第1四半期 連結累計期間		第28期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		5,909,862		6,125,163		24,323,738
経常利益 (千円)		519,920		402,830		2,206,556
四半期(当期)純利益 (千円)		253,299		153,809		1,278,694
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		252,127		155,096		1,283,738
純資産額 (千円)		4,502,255		5,541,393		5,484,676
総資産額 (千円)		9,526,046		10,009,213		9,873,520
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		25.60		15.63		129.79
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		47.3		55.4		55.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。第28期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権によるデフレ脱却のための諸施策により円安傾向が続き、輸出企業を中心とした業績改善がみられるほか、個人消費の増加による内需拡大の動きも見られるなど、明るい兆しが出ております。

国内の雇用情勢につきましては、厚生労働省が発表した平成25年6月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月比0.02ポイント上昇し、0.92倍と緩やかに改善しており、総務省が発表した同月の完全失業率（季節調整値）についても前月比0.2ポイント改善し、3.9%とこちらも改善しておりますが、依然として高い水準にあります。

このような状況のもと、当社グループは、理学系研究職の人材サービス事業を行っておりますWDB株式会社において、平成25年4月に奈良支店及び和歌山支店を開設し、近畿エリアでの業容拡大へ向けた取組みを開始いたしました。

また、CRO事業につきましては、平成25年3月に完全子会社化しました、統計解析・データマネジメント業務に特化した電助システムズ株式会社が、当社グループの一員として新たにスタートいたしました。今後、WDBアイシーオー株式会社との業務補完による事業の成長を目指してまいります。

さらに、研究開発・製造事業につきましては、株式会社WDB環境バイオ研究所において、海水生物の生態影響試験事業を本格的に開始し、教育事業につきましては、平成24年5月に開校いたしました企業内大学院であるWDBユニバーシティ株式会社が開校1年を経過し、2期生も迎え入れ、産業界に貢献できる人材輩出のための取組みを継続して行っております。

以上のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、中核である理学系研究職の売上高の増加により6,125百万円と前年同四半期と比べ215百万円（前年同期比3.6%増）の増収となりました。事業別の構成比は、人材サービス事業が97.8%、その他事業が2.2%であります。

営業利益につきましては、主として理学系研究職の人材サービス事業において、新たな拠点の出店並びに営業人員・支店人員の拡充による経費の増加により、392百万円と前年同四半期と比べ127百万円（前年同期比24.5%減）の減益、経常利益は、402百万円と前年同四半期と比べ117百万円（前年同期比22.5%減）の減益、四半期純利益は、153百万円と前年同四半期と比べ99百万円（前年同期比39.3%減）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 人材サービス事業

研究職人材サービスの売上高が前年同四半期に比べ増加した結果、売上高は、5,989百万円と前年同四半期と比べ218百万円（前年同期比3.8%増）の増収、セグメント利益（営業利益）は、新たな拠点の出店並びに営業人員・支店人員の拡充による経費の増加による影響により、456百万円と前年同四半期と比べ112百万円（前年同期比19.8%減）の減益となりました。

（注）セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

#### その他

当セグメントの売上高は、有機化学薬品の製造事業が前年同四半期と比較すると低調でしたが、魚介類の養殖販売事業が堅調に推移したことから、135百万円と前年同四半期と比べ2百万円（前年同期比2.0%減）の減収、セグメント利益（営業利益）は、3百万円と前年同四半期と比べ8百万円（前年同期比71.2%減）の減益となりました。

（注）セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、未収消費税等が減少しましたが、現金及び預金が増加したことにより、総資産は10,009百万円となり、前連結会計年度末と比較して135百万円の増加となりました。負債は、借入金は減少しましたが、預り金の増加等により4,467百万円となり、前連結会計年度末と比較して78百万円の増加となりました。また、純資産は5,541百万円となり、前連結会計年度末と比較して56百万円の増加となりました。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、0百万円であります。これは、株式会社WDB環境バイオ研究所に係るものであります。なお、当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変化はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,120,000
計	40,120,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,030,000	10,030,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	10,030,000	10,030,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日 (注)1	9,979,850	10,030,000		800,000		52,525
平成25年6月25日 (注)2		10,030,000	200,000	1,000,000		52,525

(注)1. 平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。  
2. 会社法第450条第1項の規定に基づき、利益剰余金を減少し、資本金へ振り替えたものであります。

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。なお、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行うとともに、1単元を100株とする単元株制度を採用しておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当該株式分割及び単元株制度採用による影響は考慮しておりません。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 960		
完全議決権株式(その他)	普通株式 49,190	49,190	
単元未満株式			
発行済株式総数	50,150		
総株主の議決権		49,190	

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) WDBホールディングス 株式会社	兵庫県姫路市豊沢町79番地	960		960	1.91
計		960		960	1.91

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,943,635	2,331,343
受取手形及び売掛金	2,866,891	2,847,516
商品及び製品	9,077	6,876
仕掛品	17,310	17,682
原材料及び貯蔵品	10,678	11,254
その他	823,788	578,916
貸倒引当金	3,427	3,348
流動資産合計	5,667,955	5,790,241
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	1,796,019	1,802,595
土地	1,437,468	1,437,468
その他（純額）	157,525	154,596
有形固定資産合計	3,391,012	3,394,659
<b>無形固定資産</b>		
のれん	157,736	141,107
その他	7,289	6,620
無形固定資産合計	165,026	147,728
<b>投資その他の資産</b>		
投資その他の資産	655,635	684,460
貸倒引当金	6,110	7,877
投資その他の資産合計	649,525	676,583
<b>固定資産合計</b>	4,205,564	4,218,971
<b>資産合計</b>	9,873,520	10,009,213
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,286,739	1,343,630
短期借入金	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	317,208	272,208
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	314,190	123,756
賞与引当金	285,113	237,241
資産除去債務	2,037	2,044
その他	1,246,875	1,601,739
流動負債合計	3,487,164	3,605,619
<b>固定負債</b>		
長期借入金	483,368	437,816
退職給付引当金	41,032	43,288
役員退職慰労引当金	280,991	286,335
資産除去債務	63,567	65,236
その他	32,718	29,524
固定負債合計	901,678	862,200
<b>負債合計</b>	4,388,843	4,467,819

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	800,000	1,000,000
資本剰余金	52,525	52,525
利益剰余金	4,700,960	4,556,389
自己株式	75,814	75,814
株主資本合計	5,477,671	5,533,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,445	2,370
為替換算調整勘定	4,559	5,921
その他の包括利益累計額合計	7,005	8,292
純資産合計	5,484,676	5,541,393
負債純資産合計	9,873,520	10,009,213

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,909,862	6,125,163
売上原価	4,451,539	4,675,615
売上総利益	1,458,323	1,449,547
販売費及び一般管理費	938,415	1,057,228
営業利益	519,908	392,319
営業外収益		
受取利息	9	17
受取配当金	1,471	1,453
還付加算金	3,796	8,552
雑収入	2,784	2,903
営業外収益合計	8,062	12,927
営業外費用		
支払利息	2,855	919
為替差損	1,939	-
雑損失	3,255	1,497
営業外費用合計	8,050	2,416
経常利益	519,920	402,830
税金等調整前四半期純利益	519,920	402,830
法人税、住民税及び事業税	193,510	205,937
法人税等調整額	73,110	43,083
法人税等合計	266,620	249,021
少数株主損益調整前四半期純利益	253,299	153,809
少数株主利益	-	-
四半期純利益	253,299	153,809

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	253,299	153,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	75
為替換算調整勘定	1,195	1,362
その他の包括利益合計	1,171	1,287
四半期包括利益	252,127	155,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,127	155,096
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	46,282千円	43,210千円
のれんの償却額	11,198千円	16,629千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	139,132	2,800	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	98,380	2,000	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	5,771,897	5,771,897	137,965	5,909,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,812	16,812	-	16,812
計	5,788,710	5,788,710	137,965	5,926,675
セグメント利益	569,631	569,631	12,166	581,797

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	569,631
「その他」の区分の利益	12,166
セグメント間取引消去	2,946
全社費用(注)	64,836
四半期連結損益計算書の営業利益	519,908

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	5,989,980	5,989,980	135,183	6,125,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,269	15,269	-	15,269
計	6,005,249	6,005,249	135,183	6,140,432
セグメント利益	456,705	456,705	3,501	460,206

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	456,705
「その他」の区分の利益	3,501
セグメント間取引消去	3,131
全社費用(注)	71,018
四半期連結損益計算書の営業利益	392,319

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	25円60銭	15円63銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	253,299	153,809
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	253,299	153,809
普通株式の期中平均株式数(株)	9,895,143	9,838,000

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

WDBホールディングス株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 芝 池 勉 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 矢 倉 幸 裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているWDBホールディングス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、WDBホールディングス株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。